

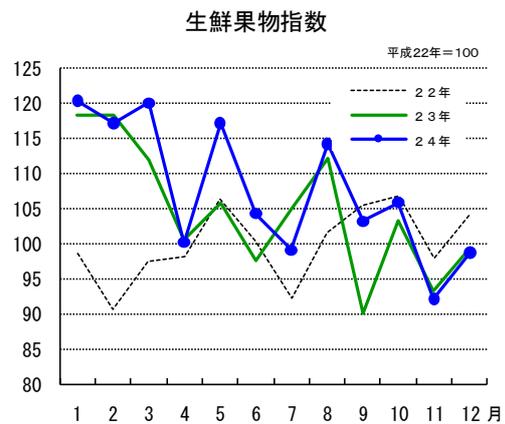
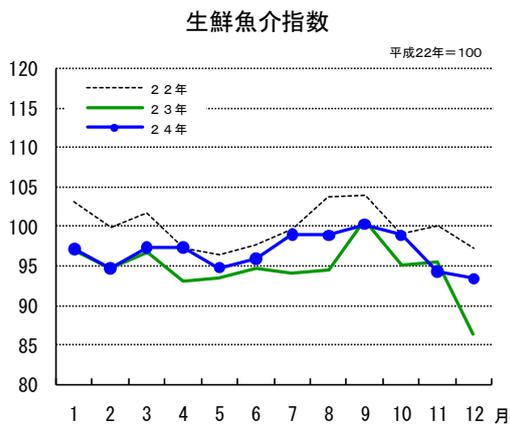
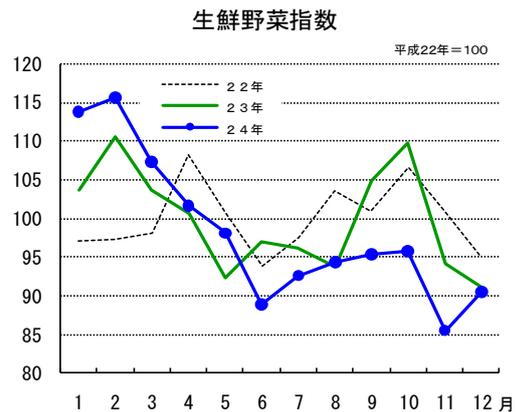
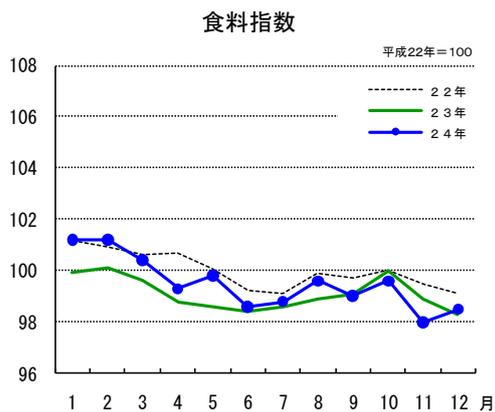
4 費目別指数の動き

(1) 食料

年平均指数は99.5となり、前年に比べ0.4%の上昇となった。

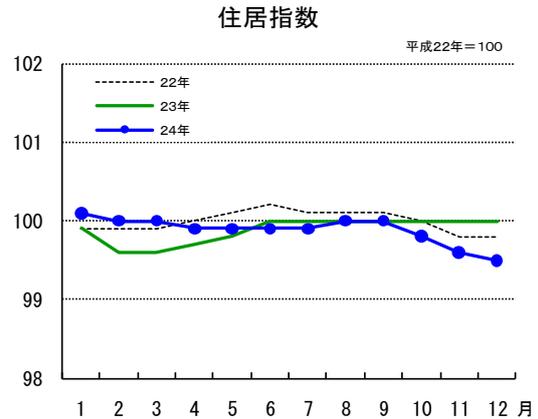
生鮮食品についてみると、生鮮魚介が2.3%の上昇、生鮮野菜が1.5%の下落、生鮮果物が3.0%の上昇となり、生鮮食品全体では0.7%の上昇となった。

生鮮食品以外の内訳をみると、穀類は4.5%の上昇、肉類は1.9%の下落、乳卵類は0.9%の下落、油脂・調味料は1.1%の下落、菓子類は0.1%の下落、調理食品は2.2%の上昇、飲料は0.5%の下落、酒類は1.3%の下落、外食は0.2%の上昇となった。



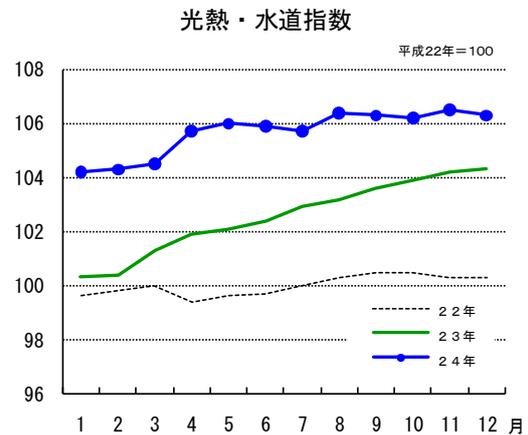
(2) 住居

年平均指数は 99.9 となり、前年と同水準となった。



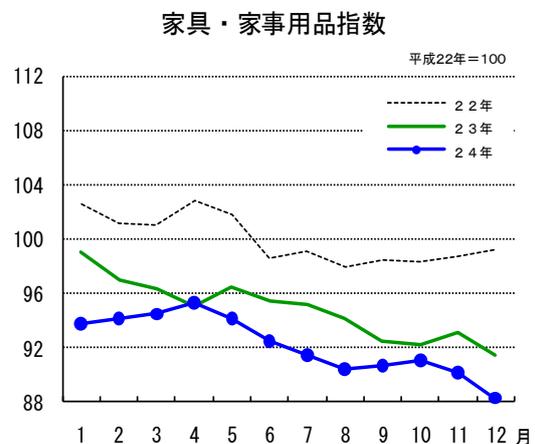
(3) 光熱・水道

年平均指数は 105.7 となり、前年に比べ 3.0% の上昇となった。内訳をみると、電気代は 3.7% の上昇、ガス代は 4.3% の上昇、他の光熱は 4.6% の上昇となった。なお、上下水道料は前年と同水準となった。



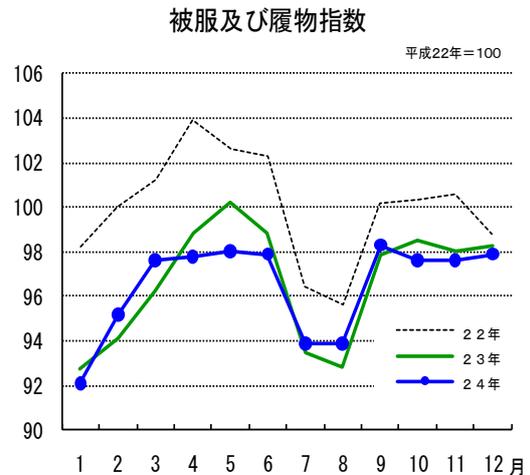
(4) 家具・家事用品

年平均指数は 92.2 となり、前年に比べ 2.7% の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は 6.4% の下落、室内装備品は 8.1% の下落、寝具類は 4.7% の上昇、家事雑貨は 1.5% の上昇、家事用消耗品は 1.3% の下落、家事サービスは 0.2% の下落となった。



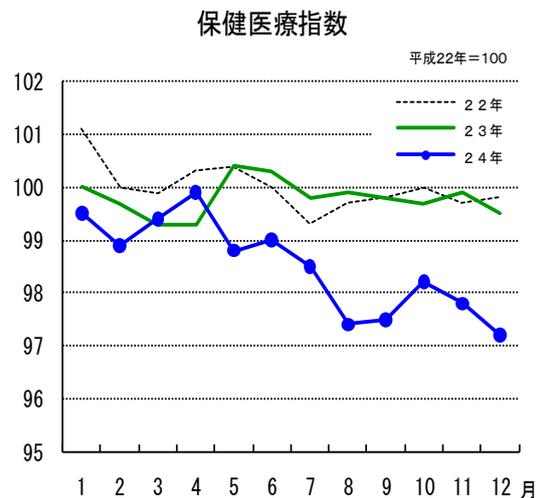
(5) 被服及び履物

年平均指数は96.5となり、前年に比べ0.2%の下落となった。内訳をみると、衣料は0.2%の上昇、シャツ・セーター・下着類は0.8%の下落、履物類は1.6%の下落、他の被服類は2.9%の上昇、被服関連サービスは0.1%の上昇となった。



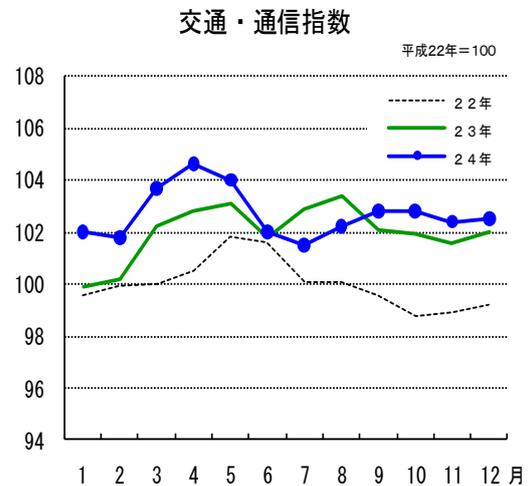
(6) 保健医療

年平均指数は98.5となり、前年に比べ1.3%の下落となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は4.6%の下落となった。一方、保健医療用品・器具は1.3%の上昇、保健医療サービスは0.1%の上昇となった。



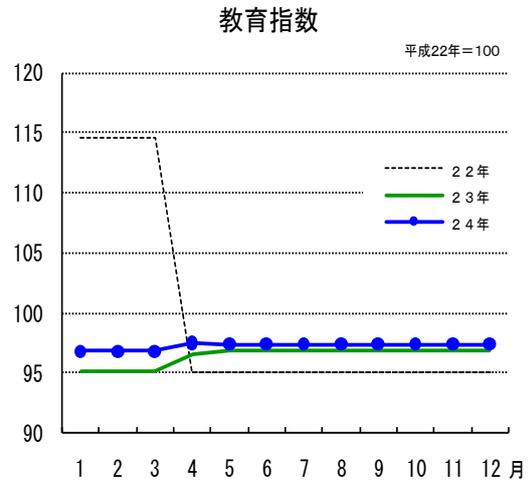
(7) 交通・通信

年平均指数は102.7となり、前年に比べ0.7%の上昇となった。内訳をみると、交通は0.1%の上昇、自動車等関係費は1.3%の上昇となった。一方、通信は0.4%の下落となった。



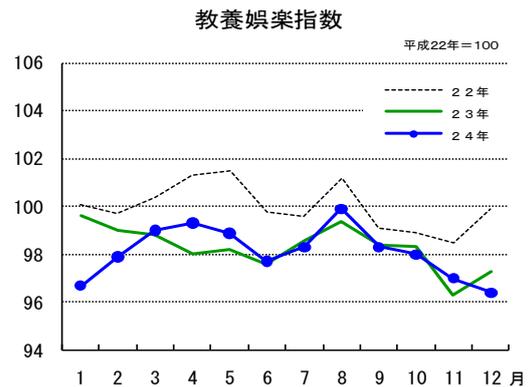
(8) 教育

年平均指数は97.3となり、前年に比べ0.9%の上昇となった。内訳をみると、授業料等は0.8%の上昇、教科書・学習参考教材は1.7%の上昇、補習教育は1.0%の上昇といずれも上昇となった。



(9) 教養娯楽

年平均指数は98.1となり、前年に比べ0.2%の下落となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は3.6%の下落、教養娯楽用品は1.9%の上昇、書籍・他の印刷物は0.5%の上昇、教養娯楽サービスは0.5%の下落となった。



(10) 諸雑費

年平均指数は102.3となり、前年に比べ0.5%の下落となった。内訳をみると、理美容用品は1.1%の下落、身の回り用品は2.8%の下落となった。なお、理美容サービス、たばこ及び他の諸雑費は前年と同水準となった。

